

この教科を学ぶことで身に付くものは何か。学年末や卒業時、子どもたちは何ができるようになっていけばよいのか。学校教育目標の実現に向け、その「ねらい」と「願い」を明確にして子どもたちに「生きる力」を育みましょう。

新学習指導要領では、「生きる力」の理念を「育成をめざす資質・能力」の三つの柱として示しました。

【育成をめざす資質・能力】の三つの柱

- ① 生きて働く **知識・技能の習得**
- ② 未知の状況にも対応できる **思考力・判断力・表現力等の育成**
- ③ 学びを人生や社会に生かそうとする **学びに向かう力・人間性の涵養**

【学習指導要領】
生きる力

【学校教育法】
学力の三要素

【観点別学習状況】
評価の三つの観点

- 知識及び技能
- 思考力・判断力・表現力等
- 主体的に学習に取り組む態度



「学力の三要素」
「資質・能力の三つの柱」
「評価の三つの観点」
が、つながるイメージですね。

各学校で考えてみましょう

- ▶ 学校教育目標（めざす子ども像）、各教科等を学ぶ意義や役割について、「育成をめざす資質・能力」の三つの柱をもとに問い直し、教職員全員で共有しましょう。